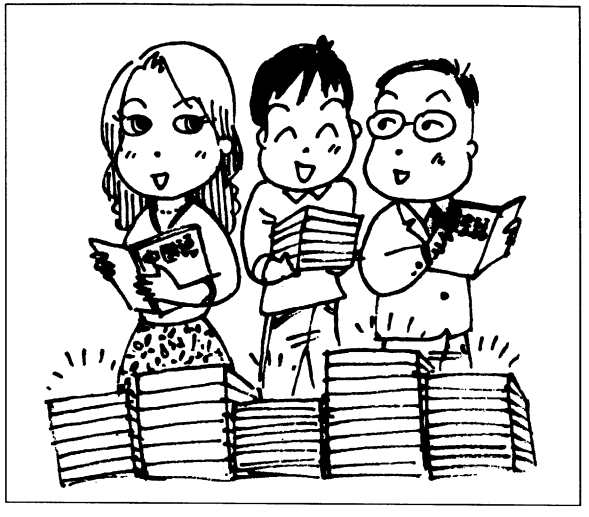
異文化と心通わせ

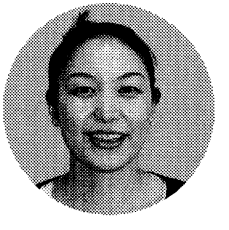
つくば通信 ㉟

村田　佳子



ラジオやテレビの講座用テキストは今の時期がよく売れるそうです。書店でたくさん積まれたさまざまな講座のテキストをすでに購入し、新しい番組の開始を心待ちにしている方もいらっしゃるでしょう。特に英語や中国語などの語学学習の番組は言語も増えているようで、最近ではアラビア語も人気のようです。テキストにはレッスンの内容以外にその言葉が話されている国の文化やその土地で活躍されている方々のインタビューなども掲載されていました。

私の元同僚に小学校5年生のころ、NHKラジオの基礎英語という番組に出合ってから20年以上、時間をみつけてはラジオでの語学学習を続けている女性がいます。職場には留学をしていた、あるいは子供のころ、海外に住んでいたという人は結構いますが、海外で生活をしなくても確かな語学力を身につけて美しく話す人が私の周りにも大勢います。彼女もその1人で、語学を学ぶための留学はしておらず、日本でもラジオをはじめ、十分語学を学ぶ方法はあると言います。彼女の最初の渡航は就職のためのヨーロッパだったそうです。それまでも、そしてその後も地道な努力と日々の実践で、今では6カ国語以上を話し国内外で活躍しています。



継続は力なり…でも難しい

彼女と一緒に仕事をしていたころ、私もNHKラジオ講座でビジネス英語を半年間続けてみました。当時は月曜から木曜の午後10時40分からその後の英語ニュースと合わせて約30分間でした。録音してしまえば簡単なのですが、「後で聞けばいいや…」と甘えてしまいそうなので録音はせず、必ず聴く、と決めました。続けられたのは放送の内容がよかったことのほか、思えばいくつかの理由があります。

▽職場の語学関連の試験（明確な目標と落ちたら後がないという危機感）

▽友人と前日の放送について話ができたこと（共有できる仲間）

▽その時間は電話には出られないと前もって友人や家族に言っておく（時間の確保と周囲の協力）

▽習ったことを使う場があったこと（アウトプットする現場）

その後、職場で行われた試験に通ったということと以外に得たことがありました。続けたことに対する自分への安心感です。テキストを閉じて床に就くときは、少々嫌なことがあったり不甲斐ない自分にガッカリしたりする日も、明日に向けての小さな達成感を得られホッとしました。

また、別の同僚もラジオでの語学講座の効果と語学上達に大切なことをこう教えてくれました。「1日15分、週4回、半年間で基礎の基礎は身につけることができるはず…。でも、続けることの難しさはある。それさえ克服できれば、ある程度のレベルまではきっちり身につけることができるのではないか。そして語学上達にあともう一つ必要なのは、まねすること。とにかく、まねして言ってみると通じることが分かり、それが楽しくて次のステップに進むことができる」。英語、ハンガリー語、フランス語、中国語など海外からの電話でもスラスラと対応する彼のこの言葉には説得力があります。

継続は力なり…。分かってはいてもなかなか難しいものです。新しいことを学んでそのスキルをどんな場所でどう使えたらいいか。例えば旅先で買い物する、値段を交渉してみる？ちょっと楽しみな未来を想像するのもよさそうです。

春はすぐそこです。これから何かを始められる方、継続していらっしゃる方、どうか楽しんでください。

（鶴岡市出身、JICA筑波国際センター・コーディネーター）